

第 93 回日本細菌学会関東支部総会報告

自治医科大学医学部
感染・免疫学講座細菌学部門 平井 義一

第 93 回日本細菌学会関東支部総会は、平成 22 年 10 月 21 日（木）、22 日（金）両日、東京都京王プラザホテルにて開催され、無事に終了することができました。今回の支部総会は、関東支部からの要請もあり、第 59 回日本感染症学会東日本地方会学術総会・第 57 回日本化学療法学会東日本支部総会の合同学会と同日・同場所開催の形式で行い、懇親会は合同で行いました。同日・同場所開催を快く了承して頂いた岡部信彦会長（国立感染症研究所感染症情報センター）と二木芳人会長（昭和大学医学部臨床感染症学）に御礼申し上げます。また、本来は合同学会の形式での開催が望ましいと思いますが、私どもの準備不足もあり、今回の形式になりましたことをお詫び申し上げます。

今回の支部総会では、初日に 30 題の一般演題を行いました。活発な討論があり、参加者および座長を務めて頂いた先生方に、御礼申し上げます。二日目には「消化管微生物叢」と題したシンポジウムを私と大西真先生（国立感染症研究所）の司会で行いました。6 名のシンポジストの発表と活発な質疑・応答が行われました。感染症・化学療法学会の先生方の参加もかなりありました。シンポジストには分かりやすく発表をまとめて頂き、有難う御座いました。

初日の会員懇親会では私と支部会長の山本友子先生（千葉大学大学院薬学研究院微生物薬品化学）から挨拶を致しましたが、山本先生からは細菌学会関東支部総会の紹介と「感染現象」に関連する研究者全体の交流・連携への方向性を話して頂きました。関東支部総会は会員間の研究交流と共同研究の進展を図るための会ではありますが、臨床研究を含めた幅広い研究者との交流も重要と感じております。感染症学会東日本地方会学術総会・化学療法学会東日本支部総会の合同学会が関東で開催されるのは 2 年に一度ではありますが、今後も「合同学会」への方向性を維持して頂きたいと考えております。

今回の学会運営設定は合同学会担当運営会社に御願い致しましたが、当日の運営は教室関連者で行いました。様々な面で行き届かない点多々ありましたが、お許し下さい。最後に、多数の演題発表と参加を頂いた会員の皆様に深く感謝申し上げます。

会場風景 1



会場風景 2



懇親会での挨拶：

左； 平井 義一

右； 山本 友子 支部会長

